

「大起水産

成長の軌跡」

大起水産株式会社 代表取締役会長 佐伯保信



さつ

魚の業界に入ったいき

私は30歳の時に独立して大起水産をスタートし、初めは堺市三国ヶ丘駅の近くで創業しました。私は中国で生まれ四

た。私は愛媛県で育ちました。が、なぜ堺へ行ったかと

いうと愛媛県の叔父が堺

のお客様にミカンと力ギ

を出荷していた関係で、

埠で就職でてきたのです。

世界中の人においしい日本の「食」を

当時、私の家は裕福ではなかつたので高等学校

へ行けなかったのです。

それで堺商業高等学校の

夜学へ通わせてもらう約

束で埠へ來ました。そし

て果物屋に就職したので

が、当時は台湾から輸

入されたバナナが神戸港

に着いて、神戸から荷物

を運ぶ港湾業者のトラッ

クが埠方に来ており、ち

業を創業して独立したい

よど学校へ行く時間帯

という思いがありまし

た。

介で魚の業界に入りました。

ですから元々魚屋をし

ようと思つて大阪へ出て

きたわけではないので

す。ただ私は大きな目

的がありました。大阪は

商人の街です。私は中國

で生まれて日本に帰つて

きたので、何か頑張つて

方法の三つがあります。

私がこの年になつてこ

ま

す。

それも日本だけでな

く世界中の人に食べてほ

しくて思つてます。日

本には食文化や神社仏閣

など、どこの国にも負け

ない素晴らしい歴史があ

ります。インバウンドの

お客様は、こうした歴史

を見に来ます。いま京都

はインバウンドのお客様

が多いです。日本の京都

ではなく世界の京都な

です。海外の人は、日本

の食文化を勉強したがつ

ています。回転寿司もそ

うです。自分の好きなも

のがどのように作られて

いるのか、おいしさがど

う違うのかというのも大

事な興味の一つだと思い

ます。これからも時代に

合わせて努力してまいり

ます。

最後に「鮮度がごちそ

う」の企業理念をこれから

とたくさんのおい

らも追求してまいります

い、喜んでもらうこと

で願い申し上げます。